

司式: 中川 信明  
奏楽: 吉田千鶴子

イエス・キリストと私たちの父の神さま。聖名を賛美します。

今日も私たち一人ひとりの名前を呼んで、礼拝堂へ、あるいは、ライブ配信を通して礼拝に集めてくださったことを感謝します。

前奏: 「主キリスト、神のひとり子よ」 (H. シャイデマン)

招詞: ヤコブよ、あなたを創造された主は、イスラエルよ、あなたを造られた主は、今、こう言われる。恐れるな、わたしはあなたを贖う。あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。(イザ43:1)

私たちはこの一週間も神さまの見守りのうちに生かしてくださいましたが、時に神さまを忘れ、悪の誘惑に負け、多くの罪を犯してきたことを懺悔致します。私たちのそのような罪を、イエス・キリストがすべて十字架上で負ってください、贖ってくださいであることを改めて感謝致します。私たちは、今日もこの礼拝において、佃牧師の口を通して、御言葉の説き明かしを豊かに聞くことができることを感謝します。どうか語る佃牧師に力を与えてくださると共に、聴く私たちの耳と心を開いて、御言葉を受け入れさせてください。また、今日は聖餐の恵みにも与ります。私たちが聖餐を通して、イエス・キリストの贖いによる罪の赦しを想起することができますようお導きください。

讚美歌 12「とうときわが神よ」

罪の告白・赦し

聖霊を求める祈り

朗読聖書①エゼキエル書 36:22-32

22 それゆえ、イスラエルの家に言いなさい。主なる神はこう言われる。イスラエルの家よ、わたしはお前たちのためではなく、お前たちが行った先の国々で汚したわが聖なる名のために行う。

23 わたしは、お前たちが国々で汚したため、彼らの間で汚されたわが大いなる名を聖なるものとする。わたしが彼らの目の前で、お前たちを通して聖なるものとされるとき、諸国民は、わたしが主であることを知るようになる、と主なる神は言われる。

24 わたしはお前たちを国々の間から取り、すべての地から集め、お前たちの土地に導き入れる。

25 わたしが清い水をお前たちの上に振りかけるとき、お前たちは清められる。わたしはお前たちを、すべての汚れとすべての偶像から清める。

26 わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。

27 また、わたしの霊をお前たちの中に置き、わたしの掟に従って歩ませ、わたしの裁きを守り行わせる。

28 お前たちは、わたしが先祖に与えた地に住むようになる。お前たちはわたしの民となりわたしはお前たちの神となる。

29 わたしはお前たちを、すべての汚れから救う。わたしは穀物に呼びかけ、それを増やし、お前たちに飢えを送ることはしない。

30 わたしが木の実と畑の作物を豊かにするので、二度と飢饉のために、国々の間で恥をこうむることはない。

31 そのとき、お前たちは自分の悪い歩み、善くない行いを思い起こし、罪と忌まわしいことのゆえに、自分自身を嫌悪する。

32 わたしがこれを行うのは、お前たちのためではないことを知れ、と主なる神は言われる。イスラエルの家よ、恥じるがよい。自分の歩みを恥ずかしく思え。

朗読聖書②マタイによる福音書 6:9-15

◆祈るときには(後半)

09 だから、こう祈りなさい。『天におられるわたしたちの父よ、御名が崇められますように。

10 御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも。

11 わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

12 わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように。

13 わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。』

14 もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

15 しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。』

教会の主なる神さま、二月を迎え私たちは定期教会総会を控えております。この総会においては、新たな年度の教会方針や担任教師の招聘などについて議することになっております。どうか私たちが正しく教会形成を進めていくことができますよう、信濃町教会 101 年目の福音宣教の新たな歩み出しの上に天からの導きを希います。

正義と平和の神さま、パレスチナの地ではやっとな停戦が実現しましたが、一年以上の戦闘によって傷ついたパレスチナの人々を癒し、生活を再建してくださいませよう。イスラエルとハマスの人質の交換が途切れることなく進みますよう祈ります。また、ウクライナやミャンマーなどではまだ戦争が続いております。彼の地においても、あなたが御手を振り平和をもたらしてくださいませよう切に祈ります。

東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から 14 年の月日が経ちましたが、原発の廃炉作業はなかなか進まず、放射能被害によって今も苦しめられている方々の苦しみを少しでも和らげ、また、私たちの教会のささやかな支援の働きの上に神さまの導きがありますようお祈り申し上げます。

教会では、鮎川健一牧師が今も怪我のために自宅療養中です。神さまが鮎川牧師を一日も早く癒してください、教会の勤めに復帰させてくださいませようお導きをお願いします。また、ご高齢の為、病気の為、仕事や家族の介護の為に礼拝に出席できない方々が多くいらっしゃいます。そのような方々一人ひとりに、あなたが寄り添い、必要な助けを与えてくださいませようお祈り申し上げます。教会から離れてしまっている者たちも、あなたから手を差し伸べてくださり、教会へと呼び戻してくださいませよう、お祈り申し上げます。

今も世界各地で、日本各地で献げられている諸教会の礼拝の祈りと共に、この祈りをイエス・キリストの聖名を通してお献げ致します。アーメン。

讚美歌 361「この世はみな」

説教: 「聖なる名を崇める」

佃 雅之

主イエス・キリストが、「祈る時にはこう祈りなさい」と弟子たちに教えられた「主の祈り」は、「天におられる私たちの父よ」という呼びかけから始まります。「主の祈り」を祈る時、私たちは、キリストと繋がっています。「私たちの父よ」という言葉には、「キリストと私の」、という意味が込められているからです。

「主の祈り」は、キリストが私たちと共に祈って下さる祈りであります。“あなたわたしの父の子だ”、“わたしにおいて、あなた方も天の父と繋がっているのだ”と言ってくださっているのです。「主の祈り」は、“父なる神の元に来なさい”、という招きなのです。しかし、招かれると同時に、私たちも、“私たちの心の内に、天の父が宿ってくださるよう”との願いが込められたものでなければなりません。

『マタイによる福音書』に記された「主の祈り」は、六つの祈りで構成されています。今朝は前半に置かれました三つの祈りに集中して聞きたいと思いません。

“父よ”、という呼びかけに続くのは、“御名が崇められますように”、“御名を崇めさせ給え”というのが第一の祈りになっています。“あなたの御名”、“あなたの御国”、“あなたの御心”、まず最初に、“神のための祈り”が表されています。そして、その後、“私たちのための祈り”が続くのです。この順序に注意することは、とても意味深いことだと思います。

私たちが祈る時、まず、何を祈るでしょう。“神さま、今日も新しい命を与えてくださりありがとうございます。”、“主よ、この礼拝に来ることができましたことを感謝します。”、素晴らしい感謝の祈りです。しかし、自分に関することです。

“主よ、罪深い私を救い出してください”、“私をこの悩みから解放してください”、正直な、真剣な祈りです。しかし、これも、自分のための祈りです。私たちは、祈りにおいても、自己中心的であることが多いのではないのでしょうか。

しかし、「主の祈り」は違います。キリストは、弟子たちに、「御名が崇められますように」と祈ることを教えられました。「御名」というのは、神、ご自身を表す言葉です。「崇める」というのは、「聖とされる」ことです。聖書の「聖」、聖霊の「聖」です。原文(ἁγιασθήτω τὸ ὄνομά σου)(アギアスセト・ト・オノマ・ソウ)「聖別する・その・名・あなたの」は「あなたの名が聖なる者とされますように」と訳すことができます。「聖なる者」として、他の者から区別して取り扱うことを意味する言葉です。

神ご自身が、“御名を聖とする”という思想は、今日共に読みました『エゼキエル書』に、はっきりと書かれてあります。この時、イスラエルの神は、御名を崇め御名を聖とすることができませんでした。預言者の伝える神の言葉を、聴こうとはしますが、その言葉に従いませんでした。彼らの心は、神にではなく、この世の利益に向かっていました。神を神とせず、神でない偶像を拜んだイスラエルの民を主は裁かれました。天の父は、私たちが犯す全ての罪や過ちを、寛大に見過ごす、何をしても大目に見る無責任な方ではないからです。しかし、厳しい裁きを行われただけではなく、「わが聖なる名のために」、イスラエルの民を、「すべての汚れとすべての偶像から清める」、「わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く」と語られています。“自らが、神であることを示すために、御名が聖なるものであることを明らかにするために、御名を汚したイスラエルを用いて、ご自分の名譽を回復される”と言われるのです。「わたしはお前たちを、すべての汚れから救う」と約束してくださいました。この神の約束を信じ、受け入れた時、私たちの心が変わられていきます。31節「そのとき、お前たちは自分の悪い歩み、善くない行いを思い起こし、罪と忌まわしいことのゆえに、自分自身を嫌悪する。」

私たちの神は、審きによってのみ、人を変えようとはされません。神の恵みの中で、神の救いの中で、初めて人は自分を嫌悪する、自分の悪い行いを受け入れ、知ることができるということです。「恥じるがよい」「恥ずかしく思え」、というのは、悔い改めを迫る言葉です。御名を汚したイスラエルは、

悔い改めて、聖なる者とならなければならないのです。レビ記 11 章 45 節に「わたしは聖なる者であるから、あなたたちも聖なる者となりなさい。」との律法言葉があります。神が聖なる者であるから、神の民であるイスラエルは、聖なる者とならなければならないのです。そのために、神は、ご自分が選ばれた民を、ご自分のものとして区別して取分けられました。私たちキリスト者が、“聖徒”と呼ばれるのは、このためでしょう。私たち一人ひとりも、神に取り分けられた、神によって区別された聖なる者たちなのであります。

この神の思いに、神の覚悟に、私たちは応えることができているでしょうか。神の願いを知りながら、御名を汚してわいしないのでしょうか。“崇める”ということは“中心に据える”ということです。都合の悪い時や満たされている時は、神の名を呼ばず、困った時だけ、助けて欲しい時だけ、神の名を思い出すのでは、神を利用しようとしているのであって、崇めているということにはなりません。

「御国が来ますように」というのが二番目の祈りになります。「御国(バシレイア(βασιλεία))」とは、「神の国」、あるいは「天の国」と呼ばれるものと同じです。「あなたの支配」と訳されることもあります。私たちは「御国が来ますように」と祈るとき、神の国、御国の到来を、終わりの日、終末のことだと思いついてはいないでしょうか。確かに、神の国が完成するのは終わりの日であるかと思えます。しかし、神の国、神の支配は、キリストが十字架にかかり、私たちの罪を贖い清めてくださったことによって、すでに始められている事柄であることを忘れてはならないでしょう。神はそのために教会を建てられたのであります。

この礼拝では、説教の前に、共に讃美歌の 361 番を賛美しました。“この世はみな、神の世界”と歌いました。今、私たちが生きているこの世界は、“ここの神のみ国だ”と歌われています。私たち教会も、私たち一人ひとりも、“父よ”呼びかけ祈るなら、そこが「神の国」に変えられるということかと思えます。全ては神の創造の業によって造られたものです。全てのものは神によって存在し、そして保たれています。神が支配されている世界です。その意味で、“この世はみな、神の世界、神の国だ”と言うことができるわけです。

十字架の福音によって聖霊の働くところ、神の支配によって生かされているものの集まり、キリストの教会は、神の国の拠点であり出発点です。

“御国を来させ給え”という祈りは、漠然とした期待感を持って祈られるような祈りではありません。“神の国はどこにあるのか?”“キリストは、神の国は、あなた方のただ中にある”と教えられています。

教会は、主の再び来られる時まで、存在し続けなければなりません。しかし教会は、終わりの日に至るまで未完成のままです。キリストの教えに、“良い麦と毒麦のたとえ(マタイ 13:36-43)”があることはご存知の方も多いと思えます。教会というところは、良い麦と毒麦が一緒に育つところですが、その区別は私たちには分かりません。ですから、教会には色々な問題が起こります。問題が起こり続けるということも、キリストは譬え話の中で示されています。完全な教会はありません。不完全なまま常に途上です。それでも教会は希望をもって前進しなくてはなりません。神は預言者エゼキエルを通して語られた通り、私たちが用いてされたいことがあるからです。全ての民を聖なる者へと立ち返らせるために、神の下に連れ戻すために、私たちが用いてくださるようとされています。そのことこそが、信濃町教会が伝統的に大切にしてきました『預言者的キリスト教』という言葉の意味でもあります。“預言者的”というのは、神が人間のために注がれる恵は、単に人

間のためばかりではなく、神ご自身の計画の実現のためにあることを意味しています。神は私たちを御国のために、神の国を完成させるために用いてくださろうとされているのです。罪にまみれた人間を神は聖なる者としてくださり、ご自身の働きの中に加えてくださるのです。

「御国が来ますように」と祈られたキリストは、次に、「御心が行われますように、天におけるように地にも」と祈られました。この祈りが三番目の祈りです。「御心」とは、“主なる神の心”のことです。神の「御心」は、一言で言えば、“愛”であります。私たちの命は、神の愛なしでは成り立たない、神から離れては成り立たない、「御心が行われますように」というのは、私たちに無償の愛、無限の愛を注いでくださる神への信頼と服従を言い表す言葉です。ただし、この祈りは、私自身の心との闘いが強いられます。私たちは、神の御心を優先することができず、自分の願いや思いを叶えてもらおうとするからです。しかし、「主の祈り」は、自分を捨てて御心に従うことを求めるものなのです。「主の祈り」というのは、本来的に、人間にはとても困難な祈りなのであります。「御心が行われますように」というのは、キリストがゲッセマネで祈られた祈りの言葉と同じです。マタイによる福音書 26 章 39 節です。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」このキリストの祈りの言葉に、御心に従うことが、いかに容易なことではないかがはっきり示されています。

キリストは神の御子であるとともに、完全な一人の人間となって、この地に来られました。人間としてのキリストが、父なる神の御心に聞き従って、誰も決して味わうことのできない苦悩を、ただ一人で引き受けて祈られました。私たちはどうでしょう。キリストのように、自分の思いではなく、御心を優先することができているでしょうか。私たちは、神の御心を問うことをせずに、自分の願いが、自分の祈りが先立つことはないでしょうか。自分自身に本当に必要なものがなんであるのか、何を為すべきであるのか、分かっていないのが私たちなのです。父の言われることは、幼い私たちにはまだわかりません。だから私たちは、日々悪戦苦闘します。しかし、私たちにとって何が幸いであるか、今、どのように生きればいいのかを知っておられるのは、天におられる父なる神だけなのです。本当の愛、神の恵みに満ちた救いというのは、必ずしも人間が望むようなことばかりではないでしょう。十字架を背負うことなしに、十字架に磔にされることなしには、受け取ることができないものだからです。しかし、その十字架は、私たちの代わりに、主キリストが背負ってくださいました。この十字架のキリストが、私たちと一緒に祈ってくださるから、父なる神に“御心が行われますように”と、私たちが祈ることができます。そして、祈ることができたなら、私たち一人ひとりが、御心を行う者でなければなりません。

私たちが、少なからず、神のために何かをしたいと思えます。しかし、私たちに力はありません。私たちが、神のためにできることは、神を神とするために、真の神を礼拝することです。神は、教会を拠点として、御心を伝えよう、御国を完成させようとしておられます。

教会の働きというのは、主の道を備えることであります。御心が、天におけるように、地の上にも行われる時を待ち望みつつ、私たちは、この地上を福音で満たすために、宣教の業に、主の御名が聖とされるために、働くことを託されています。

「主の祈り」を祈る者は、自分の言葉と行いが、御名を賛美するに相応しく整えられているか、あるいは汚すような者となっているのか、という問い

に向き合わなければなりません。私たちは、十字架の主を支えられて、はじめて、“父よ”と祈ることができるのです。これから、聖晩餐の恩恵に与り、「主の祈り」を共に祈ろうとしています。私たちは、いかに真剣に「主の祈り」を祈ることができるでしょう。「だから、こう祈りなさい。」と教えてくださったキリストへの信頼と服従が、今朝の私たちに求められていると思います。

お祈り致します。

聖なる神、あなたが、主イエス・キリストにおいて、私たちに祈る道を開いてくださったことの恵みを覚え、心から感謝致します。どうか、私たちの心を、あなたの御言葉と聖霊で満たしてください。私たちが悔い改めて、新しい心となって、「主の祈り」を祈りつつ、新しい月を歩み出すことができますように。一人でも多くの方が、あなたの愛を知り、恵みを受け入れて、共にあなたの聖なる御名を崇めることができますように導いてください。主イエス・キリストの聖名によって祈ります、アーメン。

讃美歌:464「ほめたえよう」

聖晩餐 使徒信条の告白 和解の挨拶

讃美歌:78「わが主よ、ここに集い」

献金・感謝(山本典子)・主の祈り(讃美歌 21 93-5A)

聖なる神さま、尊きあなたの聖名を賛美致します。今朝も、私たち一人ひとりの名を呼んで、この教会堂で、また夫々の場において、あなたを賛美、礼拝できましたことを感謝致します。そして、今朝は聖晩餐の恩恵に与ることができまして感謝致します。佃先生を通しまして、「主の祈り」について、改めて今日は豊かな御言葉を聞くことができました、感謝致します。

これより、私共は「主の祈り」を祈ることになりますが、どうぞ、あなたの御名を賛美して、福音を宣べ伝える者と相応しくなり、この一週間を歩めるようにしてください。

鮎川先生のお怪我を、どうぞ、あなたが癒してください。そして教会の肢々の中の弱さもどうぞ、あなたが癒してください。

今、献げました献金はあなたから戴いた物に感謝し、検診の徴としてお献げ致しました。どうぞ、あなたのご用のためにお使ください。

それでは心を込めて、これより皆で「主の祈り」を祈りまして一週間の歩みを歩み出させてください。「主の祈り」…アーメン。

派遣:讃美歌 92「主よ、わたしたちの主よ」

派遣と祝福 司式:主は言われます。「私は誰を遣わすべきか。 会衆:私がここにおります。私を、お遣わ下さい。司式:「父が私をお遣わしになったように、私もあなた方を遣わす」と主は言われる。キリストの平和の使者として行きなさい。>

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたが一同と共にあるように。アーメン。

報告:(1)教会総会出席の要請、(2)2025 年度実施する諸教会連帯基金に対する教会の方からの推薦を受付中。

後奏:「主キリスト、神のひとり子よ」(J. S. バッハ)